| STEAM 教育の実施による教員の負担を心配するが。

答 (教育長) 例えば、北条東小では先生方がとても楽しみながら取り組んでいます。きちんと成果も出しており、意識を変えることでできると思います。

STEAM 教育推進事業 700 万円のうち 350 万円が計画策定委託料となっているが、総合教育センターを中心に計画を作るべきでは。

STEAM 教育を研究しているところにコンサルティングを依頼し、こちらも学びながら、教師を育てていきたいのでご理解ください。

※「STEAM(スティーム)」とは、Science(科学)、 Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(芸術/表現)、Mathematics(数学)の頭文字を組み合わせた造語です。文系や理系など分野にとらわれず、自ら「問い」を立て学ぶことを重視した教育を推進します。

詳しくは加西市教育委員会のホームページをご覧ください。



勤労者体育センターの耐震化

180 万円

勤労者体育センター耐震改修基本設計の内容は。

コンクリートの強度 は問題ありませんが、 耐震に対応できるよう筋 交いなどの措置を講じる 予定です。また、バリア フリー化や駐車場、周辺 道路を含めた基本設計を 考えています。



コミュニティバス

5,300 万円

| コミュニティバスの運行負担金の増額は。

野現在のねっぴ〜号九会線を2往復半から4往復に増便し、soraかさいを通るルートに変更します。また、土日・祝日には、イオンからアスティア、玉丘史

跡公園、愛菜館、フラワーセンター、soraかさいまでの「soraかさい線」を新設します。観光利用もできます。



防災無線の整備

1億4,386万5,000円



市内の防災無線の整備は。受信機はどうするのか。

今年度は九会地区から着工し、親機を南部公民館、再送信局を網引・田原公会堂に設置します。個別受信機ありきで積算していましたが、スマートフォンへの配信が普及すれば工事費はぐっと抑えられます。



移住定住相談

250 万円



移住定住相談業務の委託内容について。

移住定住相談は、移住定住のみならず、起業、就 農における地域住民との橋渡しなど、様々な相談 を複合的に受けることが多くあります。そのため、様々

なノウハウがあり、地域とつ ながりのある組織団体に移住 定住相談業務を委託し、迅速 かつ柔軟な対応が可能なワン ストップ窓口を設置します。



ふるさと発掘ファンミーティング

300万円



り 移住定住促進事業のふるさと発掘ファンミーティング業務の委託内容について。

ふるさと納税を通じ、加西市と関わりを持っていただいた寄附者にお礼の気持ちを伝え、加西市に来ていただく機会をつくるために、加西市ふるさと納税感謝祭を実施します。

また、コロナ禍でアウトドア人気が高まる中、アウトドア関連のふるさと納税返礼品や施設が多くあることから、古法華自然公園でアウトドア形式のイベントを開催する予定です。あわせて、ふるさと再発見プログラム調査研究で掘り起こされた地域資源やアイデアから考案した試作段階の返礼品のモニタリングも行い、新たな返礼品作りを進めます。



